



もいまち

# 議会だより

令和元年(2019年)11月  
第81号



## 写真／議会交流会

町内会長の皆さまと意見交流会を開催しました。

詳しくは10～11ページをご覧ください。

発行 静岡県森町議会

## 《主な内容》

9月議会の内容 2～6 ページ

一般質問 7～9

外国人児童・生徒への支援について 他

議員研修会 9・11

過疎化の現状と外国人の力と共生について 他

# 子ども・子育て 支援を充実

- ・ 幼稚園・小中学校にエアコン設置
- ・ 高校卒業年代まで医療費助成の拡充
- ・ 摩耶保育園園舎新築整備を実施

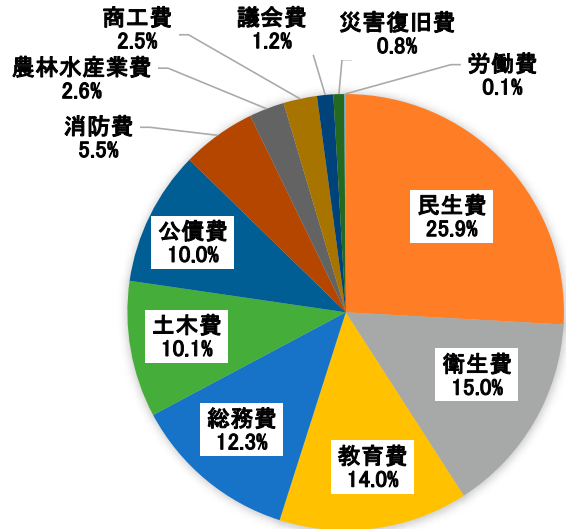
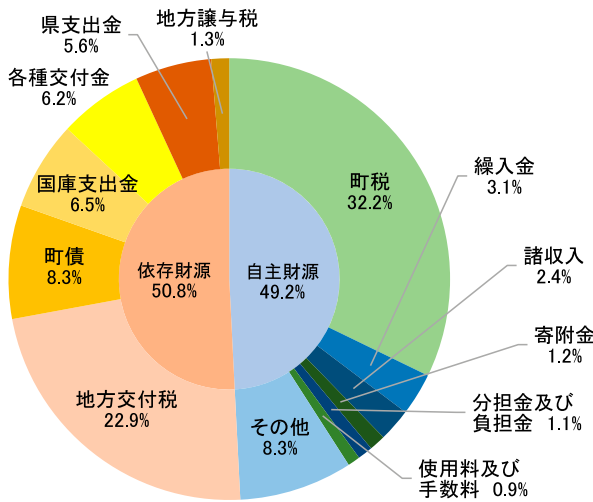
森町議会は、9月定例会を3日から26日までの会期24日間で開催しました。平成30年度決算認定、令和元年度補正予算、人事など、提案された26議案と、議員発議1議案について審議しました。

一般質問は「外国人児童・生徒等への支援について」など5人が質問しました。

(7～9ページに掲載)

歳入 84億8964万円 (前年比3.3%増)

歳出 75億3709万円 (前年比1.5%増)



## <町税・財政調整基金残高・地方債残高の推移>

(万円未満四捨五入)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町 税	26億2182万円	24億6225万円	24億5483万円	25億590万円	27億2878万円
財政調整基金残高	20億9386万円	20億5375万円	21億1386万円	20億2701万円	20億3771万円
地方債残高	72億1142万円	84億1373万円	88億8008万円	88億5216万円	88億5279万円

### 30年度末地方債残高の内訳

臨時財政対策債(元金と利子が国から全額交付税措置される)42億4614万円が含まれています。

臨時財政対策債を除いた借金は、46億665万円となります。

(万円未満四捨五入)

平成30年度は、まちづくりの中長期的な指針となる「第9次森町総合計画」の本格的始動2年目の年でした。

主な事業として、幼稚園・小中学校空調施設整備事業、こども医療費助成事業の対象年齢の拡充等、少子化対策、子育て支援の充実を図りました。

また、新たに定住推進課を設け、移住定住を推進するとともに、交流人口の拡大を図りました。

シティプロモーション活動の一環として、アクティ森を核とする新たな魅力創出発信事業を行いました。

防災関係では、新たに防災課を設け、防災・減災対策の充実を図りました。

一般会計の総額は歳入84億8964万円、歳出75億3709万円、前年度と比較して歳入3.3%、歳出1.5%の増加となりました。

歳入における自主財源の割合は、前年度より0.1ポイント増となる49.2%でした。

令和元年度に繰り越した事業を除く歳出予算に対する執行率は96.4%でした。

財政調整基金残高は、前年度に比べ、1070万円増の20億3771万円となりました。

地方債の現在高は、前年度に比べ、63万円増の88億5279万円となりました。

(いずれも万円未満四捨五入)

平成30年度決算を認定

一般会計

# 町の支出 75億円

< 決算の推移 >

(万円未満四捨五入)

会計名		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
一般会計	歳入	89億8309万円	97億3209万円	85億3538万円	82億1818万円	84億8964万円			
	歳出	80億1335万円	87億2089万円	75億4385万円	74億2867万円	75億3709万円			
特別会計	国民健康保険	歳入	20億8977万円	23億5455万円	23億3265万円	23億7967万円	21億4792万円		
		歳出	20億1223万円	22億6571万円	22億6370万円	22億3394万円	20億9187万円		
	後期高齢者	歳入	1億8921万円	1億8524万円	1億9073万円	1億9614万円	2億 473万円		
		歳出	1億8881万円	1億8453万円	1億9059万円	1億9605万円	2億 58万円		
	介護保険	歳入	20億 643万円	22億2524万円	24億9220万円	24億4979万円	23億5139万円		
		歳出	19億 890万円	20億5933万円	22億4627万円	23億4499万円	21億6925万円		
	公共下水道事業	歳入	6億6883万円	6億6310万円	5億7834万円	9億8274万円	9億 582万円		
		歳出	6億 495万円	5億6637万円	4億9385万円	9億2424万円	8億4516万円		
	簡易水道事業 (大久保・三倉・大河内)	歳入	427万円	409万円	411万円	820万円	435万円		
		歳出	333万円	309万円	316万円	741万円	367万円		
	企業会計	水道事業	収益的収支	歳入	3億3098万円	3億1274万円	3億2429万円	3億1525万円	3億4210万円
			歳出	3億1023万円	2億9589万円	2億8953万円	2億9154万円	3億5469万円	
資本的収支		歳入	1億6463万円	1億5909万円	1億4462万円	1億1262万円	1億6525万円		
		歳出	2億2700万円	2億3156万円	2億1456万円	1億8762万円	2億1720万円		
病院事業		収益的収支	歳入	28億2051万円	27億7890万円	29億 324万円	28億 411万円	27億9490万円	
			歳出	32億1216万円	29億4680万円	28億9506万円	27億4400万円	28億 619万円	
		資本的収支	歳入	2億7276万円	2億1344万円	1億8814万円	2億 97万円	3億3325万円	
			歳出	3億7842万円	3億3931万円	3億 643万円	3億1985万円	4億4281万円	
合 計		歳入	175億3048万円	186億2848万円	176億9370万円	176億6767万円	177億3935万円		
		歳出	168億5938万円	176億1348万円	164億4700万円	166億7831万円	166億6851万円		

討論

一般会計歳入歳出決算認定

**反対** 歳入は安定的に確保されており、評価する。歳入は学校空調設備の設置など評価できることもあるが、子供医療費完全無償化の拡充や高齢者の足の確保はされなかった。

新たな魅力発信事業が目玉になっているが、費用対効果を本心に考えているのか。

アクティビティの維持や森町病院会計への繰り出し、災害多発が予想される中、なおさら町民要望に応える重点政策が必要である。

(西田 彰議員)

賛成

平成30年度は、「第9次森町総合計画」の2年目として、各種事業を進めるとともに、役員組織の改編など、推進体制の整備も行われた。

国・県の制度や、交付税措置のある町債等を有効に活用するなど、財源確保に努める一方、その財源を効果的に配分し、町民福祉の向上に取り組んだ決算であると考ええる。

(中根幸男議員)

# 9月議会

## 専決処分

### 森町一般会計補正予算(第3号)

追加 1390万円  
総額 77億3001万8千円

7月22日～23日に、発達した梅雨前線に伴う豪雨で被災した公共施設等の早期の復旧に着手した

## 人事

### 森町教育委員会委員の任命

9月30日の任期満了に伴い、鈴木眞子氏を再任することに同意しました

## 条例

・第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

・第2号会計年度任用職員の給与に関する条例

平成29年、地方公務員法と地方自治法が改正され、特別職非常勤職員と臨時的任用職員の任用要件が見直されたこと及び、令和2年4月から「会計年度任用職員制度」が創設されることから、給与等の支給等について規定する第1号会計年度任用職員の規定は、

短時間勤務の職員に適用され、第2号会計年度任用職員の規定は、フルタイムの職員に適用される

### 森町税条例等の一部を改正する条例

- ①令和元年10月1日から令和2年9月30日までの間に取得した自家用軽乗用車の環境性能割の税率を1%軽減する
- ②軽自動車税の種別割の実施及び現行の軽自動車税のグリーン化特例の延長
- ③単身児童扶養者を町民税の非課税措置の対象者に加える

### 森町印鑑条例の一部を改正する条例

- ①印鑑登録証明書に旧氏欄を設け、住民票の表記に合わせた証明書を発行
- ②LGBT(性的少数者)への配慮として印鑑登録証明書から性別欄を削除

### 森町子ども・子育て支援法施行条例

・森町子ども・子育てのための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例

・森町立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の改正による無償化の開始に伴い、子育てを行う家

庭の経済的負担の軽減を図るため、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び罰則規定、教育・保育に関する利用者負担額等に関し、必要な事項について新たに条例で定める

## 補正予算

### 森町一般会計補正予算(第4号)

追加 3億7877万7千円  
総額 81億879万5千円

### 旧周智高校校舎敷地等購入費

県との協議が整ったため、旧周智高校校舎敷地及び、実習棟を取得する  
(8928万3千円)

### 木造住宅耐震補強助成事業

今後予定される申請に対応するため、高齢者等世帯10件分の補助金を追加  
(1250万円)

### 河川維持管理費

太田川ダム湖周辺の除草等の河川維持管理手数料、土砂の堆積により通水能力が低下している河川や排水路の浚渫作業等手数料  
(299万6千円)

### 公立森町病院会計繰出金

森町病院の経営基盤強化のため、一般会計から繰り出す  
(1億円)

## 一般議案

### 物品売買契約の締結

消防ポンプ自動車1台(第1分団に配備)の売買契約の締結  
契約先 静岡森田ポンプ(株)  
納入期限 令和2年3月19日



旧周智高校跡地

# 9月定例会の審議結果

	議案名	結果	備考
専決	専決処分の報告承認を求めること	承認	全員賛成
人事	森町教育委員会委員の任命	同意	全員賛成
条例	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	原案可決	全員賛成
	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例	原案可決	全員賛成
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	全員賛成
	森町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成
	森町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成
	森町子ども・子育て支援法施行条例	原案可決	全員賛成
	森町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例	原案可決	全員賛成
	森町立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成
	森町総合体育館建設基金条例を廃止する条例	原案可決	全員賛成
	令和元年度森町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	全員賛成
令和元年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	
令和元年度森町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	

	議案名	結果	備考
予算	令和元年度森町病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
一般	物品売買契約の締結	原案可決	反対 鈴木議員
	平成30年度森町一般会計歳入歳出決算認定	認定	反対 西田議員 鈴木議員 加藤議員
	平成30年度森町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	反対 西田議員
	平成30年度森町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町大久保簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町三倉簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町大河内簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成
	平成30年度森町水道事業会計決算認定	認定	全員賛成
平成30年度森町病院事業会計決算認定	認定	全員賛成	
発議	地震財特法の延長に関する意見書の提出	原案可決	全員賛成

## 組合議会報告

### 袋井市森町広域行政組合議会

7月16日、袋井市役所において袋井市森町広域行政組合議会臨時会が開催されました。  
全7議案が決定され、主なものは以下のとおりです。

・令和元年度袋井市森町広域行政組合会計補正予算(第1号)

袋井消防署関連施設敷地売却に伴う土地減価補償金  
消防署の建物付きで、組合から袋井市に土地を返還するため、土地の減価分について補償する  
・高規格救急自動車売買契約の締結について

高規格救急処理用資材を積載し、あらゆる救急事象への対応が可能な高規格救急自動車  
契約金額 2277万円  
契約先 (有)袋井モータース  
配備場所 袋井消防署森分署  
納入期限 令和2年1月31日

### 東遠学園組合議会

8月22日、菊川市役所において東遠学園組合議会定例会が開催されました。

平成30年度の決算額は、  
歳入 6億5897万円  
歳出 6億4467万円  
差引残額 1430万円

森町の分担金は、1889万円となりました。  
(金額は万円未満四捨五入)



東遠学園の施設

第一・第一常任委員会は、9月12日、付託された案件の審議を行いました

## 第一常任委員会

- ・第1号会計年度任用職員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
- ・第2号会計年度任用職員の給与に関する条例

**Q** 会計年度任用職員の身分等はどのようなのか

**A** 会計年度任用職員には地方公務員法が適用され、身分は一般職の非常勤の地方公務員となる。このため守秘義務職務に専念する義務、法律や上司の命令に従う義務、政治的行為の制限義務等、服務規定がある。

一方、雇用期間中は身分保障があり、不合理な理由では懲戒や免職は受けない。正規職員との大きな違いは期限付きの採用ということである。採用にあたっては広く公募を行い、選考にあたっては書類・面接を考えている。

- ・森町子ども子育て支援法施行条例
- ・森町子どもための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例
- ・森町立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部を改正する条例

**Q** 3歳以上は完全無料となるのか。または一定の負担があるのか

**A** 10月1日から、保育園・幼稚園・認定こども園等を利用している3歳児以上の児童の保育料は無償となるが、給食費等は保護者の負担となる。

ただし、年収360万円未満相当の世帯においては、給食費の中の副食費部分が免除となる。また、認可外保育所・預かり保育等については上限額までが無償となる。

一般会計補正予算(第4号)に係る社会教育課所管事項について

**Q** 旧周智高校敷地及び農園の利用方法は

**A** 校舎跡地に関してはテニスコート、駐車場が考えられる。実習棟は総務課で各課の意見を集約しており、それに応じた利用を考えていくつもりである。農園は、公共的な利用を今後検討していく。

**Q** 藤本コレクションの保管方法は

**A** 絵画は30点、掛軸の作品が5点、陶芸・工芸含め8点、計43点ある。保管方法は専門家である大学の先生から助言を受けている。保管場所は文化会館の保管庫内で、空調設備があり、鍵付きの場所を予定している。

※12ページのこと欄参照

## 第二常任委員会

森町一般会計補正予算(第4号)に係る建設課所管事項

**Q** 町道西俣・中島線の舗装構成、幅員、センターライン及び外側線の設置はあるか。また、企業の通行車両と橋の耐荷重は。ここは生活道路であるが、大型車両とのすれ違いのための待機場所はあるか

**A** 舗装の構成についてはアスファルト5cm、路盤砕石が20cm。道路幅員は、5.0mで、センターラインの必要幅員は5.5m以上のため、外側線も含め設置しない。

進出企業の通行車両は、10トンと4トン車両を想定している。橋の耐荷重については、企業進出時に問題ないことを確認している。待機場所は、現状の広い場所と新たに路肩としてきた場所を利用するなど、対応をお願いしたい。

森町一般会計補正予算(第4号)に係る産業課所管事項

**Q** 鳥獣(特に猪)被害が多く、捕獲時期などを緩やかにして捕獲できないか。また、人家の近くにまで出没しており、人的被害を心配するが対応は

**A** 捕獲時期は、年間を通じて、有害捕獲の申請に基づいて対応している。電気柵等の補助は農作物被害防止のためであり、人家に侵入して来る獣の防止に対応するものではない。今後、違う施策での対応を検討する必要性があると考えている。

**Q** アクティ森の視察で漏水箇所を見たが、他にも色々な箇所が老朽化している。今後の修繕計画はあるか。また、修繕内容によっては、将来的な運営にも影響はないか

**A** 修繕計画については、調査・検討し、公共施設管理計画の個別施設管理計画等に位置づける。今後、老朽化の激しい箇所から修繕していく。



西俣・中島線



アクティ森



加藤 久幸

### 外国人児童・生徒等への支援について



**加藤** ①日本語指導が必要となる児童・生徒が学校に入った場合、指導や支援できる者が十分に備わっているか。

②学校は、児童・生徒や保護者に伝えたいことを通訳や翻訳してもらい、伝えられる状況にあるか。

③今後、学校へ支援員を配置し、特定の場所で初期支援を施す等の具体的な対応策は考えているか。

④収入が安定しておらず、学用品が買えないといった場合、ケアをする方法はあるか。

**教育長** 町においても、外国人児童・生徒の増加が予想される。町内の外国人児童・生徒は9月1日現在で、小学生11名、中学生6名、幼稚園児2名、合計19名が在籍し、学校生活及び園生活を送っている。

①、②については、昨年10月に外国児童生徒支援員1名を雇用するとともに、9月から110カ国語対応の手のひらサイズの音声翻訳機「ポケットワーク」を森・飯田両小に1台ずつ導入しており、利用状況や効果を

確認し、今後さらに必要性が生じた場合、追加導入を検討していく。

③については、今後も教諭や外国児童生徒支援員により個々の状況に応じた支援をしていきたい。

④については、国籍に関係なく学校生活に必要な費用の一部を就学援助費として支給し、支援している。

今後、教諭や外国児童生徒支援員により、個々の児童・生徒に合った適切な指導や支援を行い、さらに必要があれば、県教育委員会や国際交流協会等関係機関に情報をいただき、必要な対応を図っていきたい。



磐田市における外国人児童生徒初期支援教室 (NIJI) 手引き

## 町政を問う ～ 一般質問 ～



鈴木 托治

### プレミアム付商品券について



**鈴木** 住民税非課税者や子育て世帯を支援しようと国の主導で行われるプレミアム付商品券の申請が県内で低調に推移していると聞く。現在までの町の申請状況を伺う。

**町長** 住民税非課税者の申請状況は、案内総数3157人のうち9月20日現在658人から申請を受け付け、申請率は20.8%となっている。9月6日までにご提出いただいた申請者は、審査を行い、商品券購入引換券を交付した。

今後、啓発や周知を図り、早めの申請につなげていきたい。

**三倉・天方地区の現状にあった町内会の再編について**

**鈴木** 先日行われた町内会長との意見交流会では、三倉、天方地区から過疎化のため町内会の運営が困難になってきたとの声が聞かれた。少人数の複数町内会の統合や、連合などを行い、その中から町内会長や各種役員を選出するののも一つの方法と考えるが行政側の見解を伺う。

**町長** 三倉、天方地区は人口減少が著しく、10年前と比較して三倉地区が約3割、天方地区は約2割減少している。高齢者の占める割合が高まっているが、町内会は地縁型の自治組織であり、それぞれに成り立ちや歴史的背景が異なっている。

この問題は行政でなく、まず町内会や地区の連絡協議会に相談を持ち掛けて、協議を重ねていくことが必要だと考える。

**ふるさと納税制度の現況について**

**鈴木** 森町へふるさと納税をしてくられた人数と金額、森町から他市町村への人数と金額を伺う。

**町長** 平成30年度に他自治体から森町へふるさと納税をした人数は、延べ3070人、金額は1億206万円で前年度から大幅に増えている。森町から他自治体へふるさと納税をした人数は、197人、金額は約1675万円となっている。



岡 戸 章 夫

### 空き家の片付け 補助制度の導入を



**岡** 定住推進のこれまでの実績を伺う。

**町長** 定住推進課が新設された平成30年以降、空き家バンクへの登録申請は39件・登録は21件・成立は7件であった。定住推進課及び地域おこし協力隊や移住コーディネーターに寄せられた相談件数は176件、移住者は31名の実績である。

**岡** 空き家バンクへの登録件数が伸び悩んでおり、物件数を増やすには空き家の片付け補助制度が必要ではないか。

**町長** 申請件数に対し、登録までに至らない案件が一定数ある。原因として未相続・未登記・抵当権抹消の未処理など、権利関係に起因するものと、給排水設備の機能不全や建物の老朽化などによる、市場流通性の低下によるものが考えられる。家財処分に対する支援は一つの方策であると考えるが、空き家利活用の停滞要因は複雑多岐に渡るため、

効果的な支援ができるのか総合的に判断し、さらに検討していきたい。

**岡** 先進的に導入している五つの自治体の例を紹介した。他の自治体に来て森町で出来ない理由は何か。

**定住推進課長** 自己所有物の処理のために補償や条件が必要となる。他の市町での導入事例を参考にしながら研究していきたい。

### 森町立小学校の統廃合に関する 条例改正の早期化を

**岡** 泉陽中学の廃校により、中学から三倉小・天方小への学習支援が出来なくなるのでは。条例を早期に改正し、国・県からの教員加配を受ける手続きをするべきでは。

**町長** 教員加配申請は、条例改正の時期に関わらず、増員に向けて積極的に要望していく。統合に向け万全の準備をし、条例改正は来年6月に考えている。

## 町政を問う ～一般質問～



西 田 彰

### 森町の人口減少 について



**西田** 2040年までの推計で森町の人口は、1・4万人を割り込むと予測されている。人口減少に歯止めをかけるために手を打つのか、それとも減少は避けられないとして減少実態に合わせ、手を打つのか。

**町長** 人口減少対策は喫緊の課題である。2060年に人口1・3万人を確保すべく、歯止めをかけるための施策と、実態に合わせて、住みよい環境を確保する施策の両方の視点から、出生率向上、社会移動抑制に向けての施策が必要と考える。

**西田** 行政のスリム化は避けて通れない。職員定数削減や病院・下水道事業の対応はどうか。

**町長** これまで行財政改革で見直しを進めてきた。職員定数については、新たな行政需要に対応できるように、新たな行政計画に沿って取り組んでいく。病院事業については、利用率が高い高齢者人口が一定時期まで増える予想を考慮し、経営改革プランの見直しをしながら、近隣病

院、介護事業者等と連携し、適正な規模・機能を保持できるよう努める。公共下水道事業については、森町下水道アクションプランにおいて、将来人口を設定した上で、令和8年までに整備が完了する区域と将来計画区域を位置づけている。今後適切な規模、経済性等を考慮し、事業を進めていく。

**西田** 森中心部・三倉・天方地区の減少は著しい。その対応を伺う。

**町長** 森中心部は、立地適正化計画において都市機能誘導区域及び居住誘導区域として位置づける予定である。

天方地区では、住民アンケートやワークショップを実施し、いろいろなアイデアが出たと聞いている。三倉地区でも、今年度同様に実施予定である。また、光ファイバーの導入も検討している。子育て、若者定住施策を含め、これまでの総合戦略の効果を検証しながら、次期総合戦略の策定を検討していきたい。





中根 信一郎

# 小京都森町の 推進について



## 中根

街中への観光誘客数を増加させるために、観光案内所、歴史民俗資料館、森町指定文化財など、街中に移設して立ち寄る場所を作る考えはないか。(元周智高跡地も一考)

## 町長

街中に、観光客が立ち寄ろうと考える魅力なもの、必要だと考えている。現在ある古い町家や蔵等を利用したものもいいの、新たな建物がいいの、文化振興的な面と観光、産業振興的な面の両面から、遠州の小京都まちづくりとして、検討していきたい。



歴史民俗資料館

## 中根

下水道事業の矛盾について  
下水道整備事業区域内に住宅を新築する場合、合併浄化槽の補助が適用外になり、費用がかさむが、どのような仕組みなのか。

## 町長

原則として合併浄化槽の補助金交付は、公共下水道事業整備に不向きな地域に行うもので、国の補助金も下水道事業計画区域を交付対象外としている。

計画区域においての生活環境の改善及び公衆衛生の向上のためには、公共下水道事業が効率的かつ適正な整備手法であると認識している。

同一の目的を持つ浄化槽の設置に対する補助は、二重投資となるため対象外としている。

新築住宅の建築に関しては、将来の下水道接続を考慮した浄化槽の設置をすることで、接続工事の費用削減に繋がるかと考える。

### 【その他の質問事項】

## 空き家、空き地利用推進について

空き家、空き地調査を基に、今後、どのように進めていく予定か。  
空き家バンクで公開し、移住者を促しているが、実績と課題は。

今後増加する空き家等の情報収集と公開をどのようにしていくのか。

## 町政を問う ～ 一般質問 ～

### 袋井市森町議会議員研修会 を開催

### 「過疎化の現状と外国人の 力と共生」

講師：NPO法人「楽舎」  
理事長 池谷 啓氏

森町議会と袋井市議会が合同で行う研修会を8月6日、森町文化会館小ホールで開催しました。

当日は、太田町長、原田市長を始め両市町の部課長等、70名余りが出席しました。

講師の池谷氏は、大学卒業後、民間会社を経てフリーで出版の道に進み、9年前に浜松市天竜区春野町に移住、NPO法人「楽舎」を設立、自ら田舎暮らしを実践し、山里の魅力発信や定住促進事業に取り組んでいます。

講演では、地方は過疎化と高齢化が進んでいるが、都会から田舎暮らしを求めて移住希望する人は多い。その過程で増える空き家及び耕作放棄地と移住希望者を結びつけることが、定住促進事業に繋がる。しかし、仕事が無ければ定



住は難しい。有機農業にトライしたり、インターネットを活用して全国に発信するなど、「人と人とのネットワークが大切」である。

また、国際化が進む中で、外国人との共生は、言語の違いは基より、宗教の違いを理解することが重要である。イスラム法の下では豚肉を食べることは禁じられており、その他の食品でも加工や調理に関して一定の作法が要求されることなど、これまで実践した活動について事例を挙げて解説された。  
人口の東京一極集中や社会減が進む中で、今後の地方創生やまちづくりに大変参考になる研修会でした。

(構成) 中根幸男

# 町内会長 ～意見を述べる～



全体会の様子

森町議会では、人口減少問題対策をテーマに研究しており、本年度は、7月29日・30日に町内会長の皆さま69名と意見交流会を開催しました。人口減少と少子高齢化が進む中で

①町内会活動を行う上での組織、運営の問題点と今後の課題

②地域の空き家や遊休地の利活用及び開発等地域の課題について多くのご意見をいただきました。今後、議会として調査研究を進めてまいります。

今回は、いただいたご意見の概要を、第一・第二の各常任委員会に分けて報告します。

## 第一常任委員会

### 総務課所管に関する意見

- ・人口減少地域は役員のみならず、コミュニティの崩壊をまねく

- ・町内会長の役割が昔と比べ増えている働きながらでは町内会長は無理

- ・町内会の統合を考える時期が来ているのではないかと

### 防災課所管に関する意見

- ・災害時の避難方法と町内会役員の行動マニュアルがほしい

- ・自主防災組織は形がいつい化していないか町としてモデルを示してほしい

### 企画財政課所管に関する意見

- ・元開橋以北は過疎化が進行、学校がなくなり交通事情が悪い環境では人口減は止められない。

- ・5年先、10年先の人口推移を把握し、コンパクトなまちづくりの議論が必要ではないか

### 保健福祉課所管に関する意見

- ・町内会によっては敬老会への参加者が



グループでの話し合いの様子

- ・少なくなっている。会場への足がないのも原因ではないかと

- ・高齢者世帯の増加で民生委員の仕事が増えつつある。災害時の要介護者の避難行動マニュアルを作成してほしい

### 学校教育課所管に関する意見

- ・将来町内の小中学校は小・中一貫校になるといわれているがどのように通学すればいいのか

- ・共働き家庭が増えており、幼稚園では対応が無理、認定こども園化を早く進めてほしい

### 森町議会に対しての意見

- ・人口も減っている。議員定数を減らし若者が参加できるような報酬としていくのが望ましいのではないかと

## 第二常任委員会

### 建設課所管に関する意見

- ・過疎地での草刈りは大変。行政でやってもほしい

- ・高齢化が進み、今後、草刈りなど町道管理ができなくなると考える

- ・河川愛護とレールフレンドシップで、草刈りを実施しているが、傾斜で危険である

### 産業課所管に関する意見

- ・土地が青地（農用地）ということとで宅地化を推進していない。若い人は山梨、掛川の方面へ移住してしまう

- ・田、畑の荒廃農地があり、地主は高齢化で草刈りもできなくなっている

- ・高齢化が進み後継者もなく、荒れた茶畑や竹林が増えた。大雨の濁水やイシシの出没など個人では対応できないので、町で対策を考えて欲しい

- ・通学路などに鹿も出没しており、ダニの媒介も心配

次ページへ続く

・ 撤退した工場を有効活用したり、撤去した跡地を新たな土地として活用できないか

定住推進課所管に関する意見

・ 空き家が増えている。危険な建物であれば行政が対策を検討すべき。良い物件であれば有効活用を

・ 空き家の管理ができておらず、町内会で連絡を取っても返答はない。危険箇所を特定し、町でモデルケースとして強制撤去を行ったらどうか。放置家屋が獣の巣になったりしており、困っている

・ 土地と家屋の持ち主が違い、家を新築するために土地を売りたいが、地主が売ってくれないのも、空き家が増えたり転出する原因ではないか

・ 空き家の解体がなかなか進まない。お金が掛る事と固定資産税が上がる(これも理由と思う)

・ 空き家の利活用として周辺の畑等も買っていたらいい

・ 空き家をゲストハウスとして利用できないか

静岡岡崎市町議会議員研修会

に参加

「女性活躍・働き方改革の時代に必要なもの」

講師：(株)ベレフエクト代表取締役

人材育成コンサルタント 太田彩子氏

8月9日、静岡市グランシップにおいて、県内市町議員を対象とする合同研修会に全議員が参加しました。

講演では、若い女性は、ライフイベント(結婚、出産、子育て、介護)があると仕事を続けられないとの不安を持っている。女性が活躍できる社会のためには、土田でも預けられる保育園などの社会インフラ整備と、男性の育児休暇取得や、ハラスメントのない環境づくりなどの意識改革が重要である。これからの女性はより豊かに、健康で幸せでなくてはならないと話した。

森町においても、保育園などの社会インフラの整備の必要を実感した研修でした。

(構成 岡野 豊)



講師の太田彩子氏

キャッシュレス社会に向け勉強会

「キャッシュレス決済を安心して楽しもう」

講師：ICTコーディネータ

ジョイプラッツ代表 和田喜充氏

8月20日、森町議会ICT活用推進委員会では、普及が進むキャッシュレス社会に向けた基礎講習会を、開催しました。

今回の対象者は役場職員と議員で、業務終了後21名が参加し、熱心に勉強しました。

キャッシュレスという概念が広がっていますが、すでに多くの方がクレジットカードやポイントカードなどを利用されており、これらもキャッシュレスのひとつです。

最近では、スマホを使ったレジでの支払いやネットショッピングなど、普



講師の和田喜充氏



熱心に聞き入る受講者

及が加速しています。一方、使い方やセキュリティに不安を持つ方も多く、基礎知識を学び安心して活用することが、求められています。

国も、ICT活用やインバウンド対応を含め、キャッシュレス社会に向けた施策を整備中であり、行政に関わる私たちも、正しい知識を持つことが必要と感じています。

講習では、なぜ世界でキャッシュレス化が進んでいるのか、社会動向からキャッシュレス方法の種類や仕組みなどを、講師の経験を踏まえて分かりやすく解説して頂きました。利便性と安全性が向上することにより、日本でも益々普及することでしょう。

受講者からは「基本的な事が学べて良かった、分かりやすかった、使い方も教えて欲しい」などの声も聞かれ、大変有意義な講習会となりました。

(構成 岡野章夫)

# みんなのこえ



大会で活躍する審判員

連絡先  
 部長 鈴木 明 (市場)  
 連絡 090-4111-5686

## 森町体育協会 ソフトボール連盟

ソフトボール連盟は、各種森町大会予選の主管として立案や審判員等の大会運営を担当しています。さらに、森町代表チームが袋井地区との代表決定戦(西部大会、県大会)にも審判員で参加しています。

昨今では、時代の変化やスポーツの多様化により、森町での大会も参加チームが少ないのが現状です。ちなみに来年は東京オリンピックが開催されソフトボールも復活しており、人気が出てくれればと思います。まずは、ソフトボールを通じて町民の健康増進・維持さらには親睦を深める場の一助になればと思つて、頑張っております。

### 議会を聴きに来ませんか

9月議会では、のべ27人の方が、議会へ足を運んでくださいました。

予約は必要ありません。手続きも簡単です。議場は役場3階です。是非、お越しください。

- 定員28名
- お問い合わせ先……議会事務局  
電話 0538-85-6329

### 12月定例会の予定

12月 3日 (火) 本会議 初日  
 12月10日 (火) 本会議 2日目  
 12月11日 (水) 常任委員会  
 12月20日 (金) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。  
 ※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

### 森町折々の写真を募集中

議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。

詳細は、議会ホームページをご覧くださいか、議会事務局までお尋ねください。  
 応募・問い合わせ先

森町議会事務局  
 〒437-0293 森町森2101の1  
 0538-85-6329  
 morimachi.gikai@gmail.com



森町議会HP  
写真募集について

### ひとこと

森町出身で、豊橋市在住の(株)藤本商會本店会長・藤本秀男(旧姓安岡<sup>やすま</sup>)氏が、生涯をかけて集めた美術作品の中から、日本画や陶磁器など43点を8月19日、町へ寄贈してくださいました。藤本氏は、これまでも小中学校の図書購入費などを寄贈されており、住民の一人として心から感謝申し上げます。

町では、11月1日から5日まで文化会館で寄贈作品を中心に「フジモトコレクション展」を開催しました。藤本氏の願いのとおり、次代を担う小中学生や高校生が美術品を鑑賞して感性を養っていただければと期待しています。(Y・中根)

### 議会だより編集委員会

委員長 中根 幸男  
 副委員長 岡野 豊  
 委員 鈴木 托治  
 委員 加藤 久幸  
 委員 岡戸 章夫  
 発行責任者 議長

もりまち議会だより第81号  
令和元年(2019年)11月15日発行

発行 静岡県静岡市  
静岡市議会だより編集委員会

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1  
TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044  
https://www.morimachigikai.com/  
E-mail: morimachi.gikai@gmail.com